

# 要約カードをつくろう

小5／こうほの 中から、中心になる語を 3つ えらびましょう

2 / 5

なまえ

ひづけ

こうほの 語は どれも 本文に 1回だけ 出て きます。この 中から 中心になる語を 3つ えらび、要約カードの □ に 左から 順に 書き入れましょう。

## 山の岩と川のすなを 読んで、答えましょう。

- ① 山の高いところを見上げると、ごつごつした地はだが目に入る。
- ② そこにある 岩が、少しずつ くずれて いく。
- ③ しみこんだ水が、こおったりとけたりをくり返す。
- ④ 水がこおるとき、体積が増えて内側からおし広げる。
- ⑤ その力で、表面に細かいひびわれができる。
- ⑥ ひびわれた部分がくずれ、下へ落ちる。
- ⑦ 落ちたかけらが、谷を流れる川に運ばれる。
- ⑧ 川の流れが、かけらどうしをぶつけ合わせる。
- ⑨ ぶつかるたびにかけらの角が取れ、形が小さく丸くなる。
- ⑩ 水の量が増えるときほど、大きなかけらまで動く。
- ⑪ 長い年月をかけて、かけらがすなに変わる。
- ⑫ 川の下流ほど、つぶの大きさがそろってくる。
- ⑬ たとえば、海岸のこまかい石はこうしてできたものが多い。
- ⑭ 流れがゆるやかな所ほど、小さいつぶが遠くまで運ばれる。
- ⑮ こうしてできた地面が、植物の育つ土台をつくる。
- ⑯ 大地の形が、長い年月の間に少しずつ作りかえられている。

## こうほ（この 中から 3つ えらんで □ に 書く）

海岸

川の流れ

すな

岩

土台

体積

### 要約カード

は、 によって、 になる。

□には、こうほから えらんだ 語を 左から 順に 入れる。

## この 要約に 入れなくてよい 文の ばんごう

「たとえば」で はじまる 文は、くわしい 例や つけ足しです。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント  
「読解プリント」のプリント一覧がひらきます



## 要約カードをつくろう【こたえ】

小5／こうほの 中から、中心になる語を 3つ えらびましょう

2 / 5

なまえ

ひづけ

赤い線を ひいた 文に、ぬき出す語が 1回だけ 出てきます。  
書き入れた語が 本文と 同じ書き方（送りがなも同じ）なら ○。

### 山の岩と川のすな

入れなくてよい 文 … ⑬

- ① 山の高いところを見上げると、ごつごつした地はだが目に入る。
- ② そこに ある 岩が、少しずつ くずれて いく。
- ③ しみこんだ水が、こおったりとけたりをくり返す。
- ④ 水がこおるとき、体積が増えて内側からおし広げる。
- ⑤ その力で、表面に細かいひびわれができる。
- ⑥ ひびわれた部分がくずれ、下へ落ちる。
- ⑦ 落ちたかけらが、谷を流れる川に運ばれる。
- ⑧ 川の流れが、かけらどうしをぶつけ合わせる。
- ⑨ ぶつかるたびにかけらの角が取れ、形が小さく丸くなる。
- ⑩ 水の量が増えるときほど、大きなかけらまで動く。
- ⑪ 長い年月をかけて、かけらがすなに変わる。
- ⑫ 川の下流ほど、つぶの大きさがそろってくる。
- ⑬ たとえば、海岸のこまかい石はこうしてできたものが多い。
- ⑭ 流れがゆるやかな所ほど、小さいつぶが遠くまで運ばれる。
- ⑮ こうしてできた地面が、植物の育つ土台をつくる。
- ⑯ 大地の形が、長い年月の間に少しずつ作りかえられている。

#### 要約カード

岩

は、

川の流れ

によって、

すな

になる。

□には、こうほから えらんだ 語を 左から 順に 入れる。

できあがる要約 … 岩は、川の流れによって、すなになる。

⑬は、しくみを くわしく 言いかえたり つけ足したり している 文だから。

#### まるつけの ポイント

3つの語が そろって 入っていれば ○。順番が ちがうと ×。

言いかえた語（「岩」を「石」など）は ×。本文の 書き方どおりに 写す。

⑬のように「たとえば」で はじまる 文は、くわしい 例や つけ足しなので 要約に 入れない。